

地域 かわら版

大坂上中地区版

から版



- 発行日／平成 27 年 5 月
- 発行・編集／日野市企画部地域協働課
〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2
- 電話／042-581-4112

H27年
通算第17号

↳ よそう森公園にて。(平成 26 年度第 2 回地域懇談会 まちあるき風景)

* 地域がつながるフリーペーパー *

今日、高齢化社会・人口減少社会、地域コミュニティの衰退、空家問題などが叫ばれる中、これらの問題に立ち向かっていけるまちの基盤づくりのためには、「人と人とのつながり・コミュニティ」を創っていくこと、市民一人ひとりがまちづくりに関わっていくことが必要です。

その取組の一つとして、昨年度より8中学校区で開催している「地域懇談会」を大きく転換致しました。以前は、自治会活動の情報交換の場として自治会長を対象に開催しておりましたが、地域で活動している団体の方々にもお声掛けし、住んでいる方とその地域で活動している方の顔合わせの場となっています。

大坂上中地区では、前半をまち歩き、後半を懇談として地域懇談会を開催しました。前半のまち歩きでは、日野宮神社とよそう森公園を中心とし、水路沿いを歩きました。日野宮神社ではめったに入ることが出来ない境内まで上がらせていただき、実際に安置されている仏像を見ながら「うなぎ伝説」についてお話を伺いました。よそう森公園では、大坂上中地区の水路や稲作の話などを伺いました。また、懇談の前には前回の地域懇談会で話題となった「高射砲」の話について、貴重な写真資料などを見ながら、歴史に詳しい市民の方にお話を伺いました。

後半の懇談では、まち歩きの感想や、大坂上中地区が抱えている問題、未来への展望など様々な意見を出し合いました。

そして、取組のもう一つがこの地域情報誌である「地域かわら版」です。これまでの地域かわら版は日野市全域を対象に発行していましたが、昨年度より8中学校区に分け、記事は市民の方々を書いていただくなど、市民により身近な情報をお届けしています。

人とつながるきっかけとして大坂上中地区のよさを発見する「地域かわら版」をご活用ください。



初めてのもちつき大会

～大坂上都営自治会～



★ 初めての試み

大坂上都営自治会では、昨年末に初めての「もちつき大会」を開催しました。

事前に提案された役員会では、予算面・人員面などから反対意見も出て、中々スタートが切れませんでした。

そんな折も折、地域の活性化を目的とした市のインセンティブ補助金の募集がありました。そこでそれに応募し、補助金がいただけるならやろうということになりました。

そして結果、運よくいただけることとなり、開催が決定しました。



★ 自治会と地域について考えよう

大坂上都営自治会では、一昨年から「自治会の在り方を変えよう」と取り組んでいます。

高齢化に伴い役員の負担が大きくなっており、それでも順番だからしょうがなくやっているという状況でした。

そこで役員を義務で縛らず、必要性の小さい仕事は極力減らして、嫌々役員を務めるのではなく、「よい地域にする」ためのアイデアを出して、明るく前向きに変わりつつあります。

テーマの一つとして「失われつつある地域コミュニティの復活」を目指しています。

日本人は元来、隣近所と助け合い支え合って暮らしてきたはずです。

その素晴らしい日本の伝統・文化が残念なことに忘れられているように感じます。

それを取り戻す一環として、もちつきをやりたいという私たちの考えを、有難いことに市が理解してくれました。今はなくなってしまった「子供



└ 段々と手つきも慣れてきました！

会との共同イベント」としての意味もありました。

★ もちつき大会当日！

当日は何せ初めてのことなので、どうなることかと心配しましたが、年配の方の中には、もちつきの経験者もいて、小さな失敗はありましたが、つつがなく終わることができました。

何よりみんな楽しそうで、喜々として働いていました。終わった後みんな口々に「楽しかったあ」と言っていました。



└ つきたてのお餅をその場で調理

もちを食べに来た人たち

もみんな笑顔で、本当にやってよかったです。

買い物の代行・宅配を行っている「豊田じぞう宅配便」の方が綿あめのサービスをしてくれ、これまた子供たちに大好評でした。

今後またより楽しいイベントになるよう、みんなで力を合わせ取り組んでいきます。

★ みんなで、あたたかい地域を目指したい

ちなみに当自治会では、団地の目標・テーマを決めました。

「すれ違ったら、笑顔で挨拶を交わす。ごみが落ちていたら、誰かがそっと拾う。そんなあたたかくて人の和があふれる地域を、私たちは目指します」

いずれ看板にして、団地内のあちこちに掲げたいなんて考えています。

ゴミを捨てる悪しき人を減らすのは難しいけど、拾う善き人を増やしていこう、なんてみんなで頑張っています。



└ きなことみぞれの二種類。

つきたての柔らかいおもちが子どもたちにも大好評でした！

四ツ谷のうなぎ伝説

日野市内に「うなぎを食べない」地区があることをご存じでしょうか。この風習が残っているのは、四ツ谷の地区です。

四ツ谷は日野市の北西に位置しており、現在は、栄町と一部は日野本町に改名されています。

★ 四ツ谷という地名

四ツ谷という名称は、この地に天野・加藤・小島・宮原という四つの家があったことに由来するそうです。この四家は元をたどると、江戸時代の少し前に、甲州(山梨県)から来た武田氏の家臣だったといわれています。

★ うなぎを食べない理由

さて、何故この四ツ谷地区がうなぎを食べないかという話ですが、これは村が多摩川の水害に襲われたときに、壊れかけた堤防の穴に沢山のうなぎが入り込んで洪水から村を守ってくれたという伝承が残っているためです。

日野宮神社のご神体が虚空蔵菩薩であると伝えられていること、虚空蔵菩薩の召使いがうなぎであると伝えられていること、仏像の天衣がうなぎにそっくりであることがその伝承の裏付けとなっています。

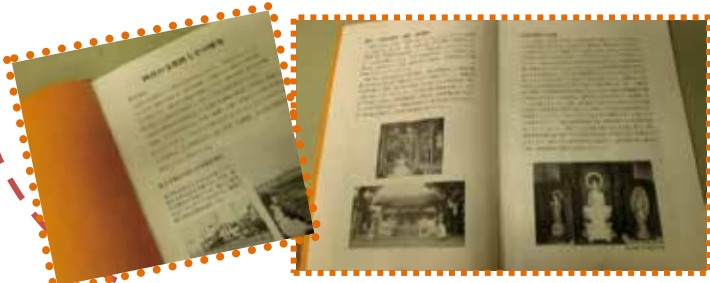
洪水から村を守ってくれたうなぎを食べては恐れ多いという神仏のご加護を願う心から「うなぎ伝説」が生まれ、今でも四ツ谷地区にはうなぎを食べない家が多くあります。

なお、ナマズの研究をされている秋篠宮様なども、この「うなぎ伝説」を研究しに2度四ツ谷にお見えになっているそうです。

★ 自治会で歴史を共有する

日野宮神社のある四ツ谷自治会では、「四谷の文化財とその歴史」として日野宮神社の由来や成り立ち、安置されている三体の仏像についての話や、この「うなぎ伝説」についてなど、自治会の有志で「四谷の文化と歴史編集」会を結成し、自治会の名簿に載せています。

その裏には、「地域の人に、伝統と歴史ある四ツ谷地区の文化についてもっと知ってほしい!」という強い思いがあります。



「日野」の由来にもなったという「日野宮神社」市の有形文化財に指定されている「木造阿弥陀如来立像」と有形民俗文化財に指定されている「木造菩薩立像」も安置されています。



地域懇談会では境内に入り、実際の仏像も見ることができました!



木造菩薩立像(虚空蔵菩薩像)袖の衣がうなぎのように見えます。

地域懇談会だけでも、日野市に残るユニークな歴史や、地名の由来、文化の話を数多く聞くことが出来ました。

ぜひ皆さんもご自身の住む地域の歴史を紐解いてみてはいかがでしょうか。

市からのお知らせ

自治会専用ページ「自治会ナビ」を公開しました！

日野市のホームページの最初のページ下部、「くらしの情報」欄に“自治会専用ページ「自治会ナビ」”を作りました。（日野市ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>）

総合サービス案内

くらしの情報	福祉・健康
<ul style="list-style-type: none">▶ 住民票・戸籍・印鑑登録▶ 税金▶ 保険・年金▶ ごみ・リサイクル▶ 生涯学習・文化・スポーツ▶ 心配・悩み事・相談▶ 住宅・建物・土地・道路▶ 自治会専用ページ「自治会ナビ」	<ul style="list-style-type: none">▶ 健康診査・検診・予防接種▶ 健康づくり▶ 医療機関案内▶ 子どもの健康▶ 高齢福祉▶ 障害福祉▶ 介護保険▶ セーフティネット▶ その他の福祉・健康の情報を見

ここから飛べます

普段自治会から問い合わせの多い、防犯・防災、高齢者への取り組み…などの項目を一つのページにまとめました。

自治会活動をする中で、「こういうときはどうしたらいいのだろう？」と困ることがあれば、参考にしてください。



高齢者のほっとあんしん相談所 地域包括支援センター

地域包括支援センターは日野市が設置している高齢者とそのご家族のための総合相談窓口です。プライバシーにも配慮しています。

お困りごとやご心配ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

お隣のひとりぐらしのお年寄りを最近見かけなくて心配だわ・・・

同じことを何度も聞くようになったけど・・・もしかして認知症？

ご心配事があったらまずは電話でご相談ください

ちょっと気になる方がいるのですが…

はい！こちら地域包括支援センターです！



名称	電話番号	担当地域
あいりん	586-9141	多摩平3～7丁目・日野台4、5丁目・大坂上
せせらぎ	589-3560	日野本町・神明・日野台1～3丁目・栄町・新町

【受付時間】月～金曜日 午前9時～午後6時 ※受付時間以外のご相談は、電話により対応します